

扇 よし和

蓼 胡茂

当日の審査員

田村 てる

土川 きく

■ 令和七年十二月六日(土) 午後一時開演(十二時半開場)

■ 東京証券会館ホール (地下鉄東西線・茅場町)  
☎(三六六七)九二一〇

主催・公益社団法人 日本小唄連盟

<http://kouta-renmei.org>

第三十三回

若<sup>わか</sup>樹<sup>き</sup>会

ご挨拶

師走の候、皆様お健やかに過ごしの事とおよろび申し上げます。  
扱、日本小唄連盟若手育成事業の一環として平成三年に発足致しました  
小唄「若樹会」もお陰様で本年は第三十三回を迎え、これからの小唄界  
を担う若手の登竜門として定着し益々充実した内容となりました。

日本小唄連盟は、この会が若い方々の研鑽の場となり、一人でも多く、  
すぐれた演奏家が誕生することを願いたしております。

皆様におかれましては、この「若樹会」を温かくお見守り下さり、  
格別のご支援を賜ります様、お願い申し上げます。

令和七年十二月吉日

公益社団法人 日本小唄連盟

一部（系の審査・太字）

一 あの日から  
春竹 利香  
春竹 利玲

二 筆の傘  
松峰 照音  
松峰 照音

三 梅が香  
井筒 幸一  
井筒 幸誠

四 移り香  
峰村 好志藤  
峰村 多満葛

五 わしが思い  
松峰 照  
松峰 小玉

（唄の審査・太字）

六 王子の狐  
山本 慶子  
錦乃 まい

七 やくのは野暮  
春竹 利芙美  
春竹 利保

二部（若樹賞受賞者・太字）

八 主さんと雪のあした  
小唄 幸三希  
小唄 幸希鈴

九 おけさ千鳥  
峰村 好志藤  
峰村 好志乃  
上峰村 好乃友

十 川竹  
春竹 利保  
春竹 利芙美

十一 嘘のかたまり  
井筒 幸誠  
井筒 幸一

十二 春あさき  
春竹 利香  
春竹 香燕

十三 濡れつばめ  
松峰 照あや  
松峰 照あや  
替松峰 弥生乃

十四 今宵は雨  
田村 てる  
田村 てる  
田村 てる  
かまわぬ

令和元年度

十五 今日一日

土川 きく紫乃  
替土川 菊柳

平成二十八年

十六 手拭の  
がん首の

田家松 掬  
田家松 小峰

平成二十七年

十七 峠来出島々

扇 和鼓  
扇 和弓

平成二十六年

十八 曾根崎

春竹 香燕  
春竹 利香

平成二十年

十九 胸の木戸  
羅生門

小唄 幸三卯  
小唄 幸三希

平成十六年

二十 高時  
ちよいと出るにも

千紫 已恵佳  
千紫 しげ佳

平成十四年

二十二 佃流し  
浮世さらさら

松峰 小玉  
松峰 照

平成十一年

二十二 木枯らしの  
可愛いお方

蓼 史ま由  
蓼 鈴緒

平成十一年

二十三 雪明かり  
うらの背戸屋

松峰 弥生乃  
松峰 照

平成十年

二十四 白菊

春竹 利香  
春竹 利保

平成八年

二十五 佃ばやし

蓼 鈴緒  
蓼 史ま由

平成七年

二十六 地まわり  
つれてのかんせ

田家松 小峰  
田家松 掬

平成四年

二十七 心して  
坂はてるてる

蓼 胡文雄  
上蓼 胡鈴子  
上蓼 競文芳

平成六年

二十八 門松に

蓼 胡茂  
蓼 鈴緒

平成五年

二十九 言わなきやよかった  
それですもうと

松峰 照  
松峰 弥生乃

平成五年

三十 木枯らしさん  
寒おすな

扇 よし和  
扇 和弓